

2021年度 科学技術社会論学会シンポジウム

- 最終更新日 (2021/09/03 Friday 13:50:07 JST)

2021年度 科学技術社会論学会シンポジウム新型コロナ・自然災害・原発事故についていかに分かり合うのか コミュニケーションを再考する —— フライヤー(PDF) ——2020年は、新型コロナウイルス感染症によって、改めてさまざまな主体間のコミュニケーションや合意形成がいかに難しいのかが浮き彫りとなりました。誰にも完全には見通せない未来に対して、科学はいかに振る舞い、いつ誰とどのようなコミュニケーションを行うことが求められているのでしょうか。本シンポジウムでは、新型コロナウイルス感染症に加え、東日本大震災から10年の節目の年であることから自然災害と原発事故も取り上げ、それぞれの事象の特性を踏まえつつ、求められるコミュニケーションのあり方について話題提供いただきます。その上で、私たちの社会が科学とどのように未来を歩むのかを考えたいと思います。日時2021年5月8日(土) 9:00 - 12:30 (オンライン開催)主催・後援 主催: 科学技術社会論学会後援: 日本グループ・ダイナミクス学会/日本原子力学会/日本災害情報学会/日本自然災害学会/日本リスクマネジメント学会 (50音順)参加申込・参加料 事前の参加申込が必要です。こくちえずプロ (<https://bit.ly/3dNXxEQ>) よりお申し込み下さい。 接続数に上限があるため定員になり次第、申込終了となる場合があります。参加費無料 プログラム第1部 話題提供新型コロナウイルス感染症のコミュニケーション奈良 由美子氏 (放送大学教養学部 教授) 自然災害とコミュニケーション: 科学と防災のあいだの乖離関谷 直也氏 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター 准教授) 原子力とコミュニケーション: 語られるべきことの語られなさをめぐって寿楽 浩太氏 (東京電機大学工学部 教授) 第2部 指定討論・パネルディスカッション指定討論者: 日比野 愛子氏 (弘前大学人文社会科学部 准教授) お問い合わせ 科学技術社会論学会シンポジウム担当jssts_symposium[at]cm.kansai-u.ac.jp [at] を@に変えてください